

やさしい にほんご

だい き
第4期

しずおかけんたぶんかきょうせい

静岡県多文化共生

すいしんきほんけいかく

推進基本計画



Intercultural
SHIZUOKA

しずおかけん
静岡県

けいかくの ねらい

この 計画は、静岡県にすむ 外国人も 日本人も、誰もが 安心して暮らし、
かつやく 活躍できる 多文化共生社会をつくることを めざす計画です。

けいかくの いちづけ

この計画は、静岡県の もっとも うえの 計画である「静岡県総合計画
(2025-2028)」のうち 多文化共生に 関係する 部分の かわいいものです。

けいかくのきかん

2026年度から 2028年度 (3年間)

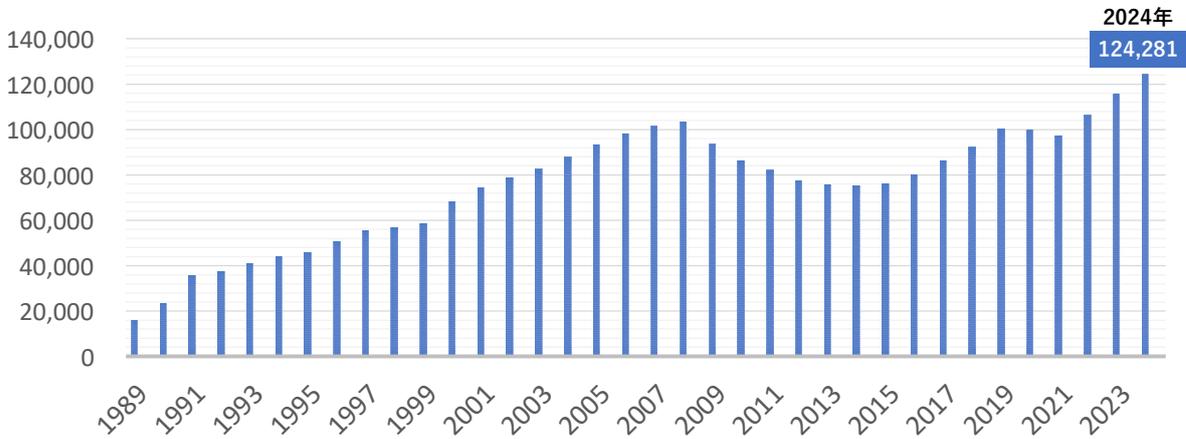
けいかくの はいけいと しずおかけんの めざすこと

外国人県民の状況(2024年末時点)

静岡県には 2024年末で 124,281人の 外国人が くらしています。

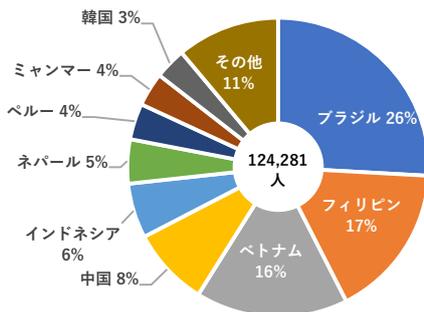
在留外国人数の推移

法務省「在留外国人統計」各年12月末現在

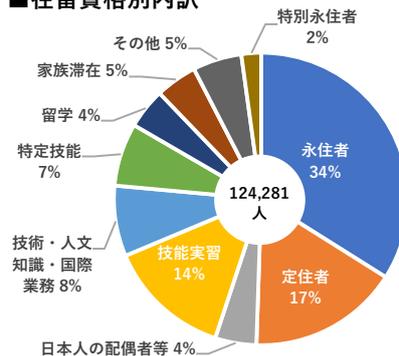


※ 2011年までの「中国」は台湾を含んだ数、2015年以降の「韓国・朝鮮」は韓国のみの数

国籍別内訳



在留資格別内訳



おもに せいぶちいき 主に 西部地域に
ブラジルなどの なんべいしゅっしん 南米出身の
がいくじん おお 外国人が多く くらしています。
さいきん 最近 は ベトナムや ネパールなど
からの がいくじん 外国人が ふえています。

法務省「在留外国人統計」2024年12月末現在

■ 県のこれまでの取組

静岡県は 2011年に はじめて「静岡県多文化共生基本計画」をつくりました。第3期（2022-2025年度）では、やさしい日本語や 地域日本語教育などに とりくみました。

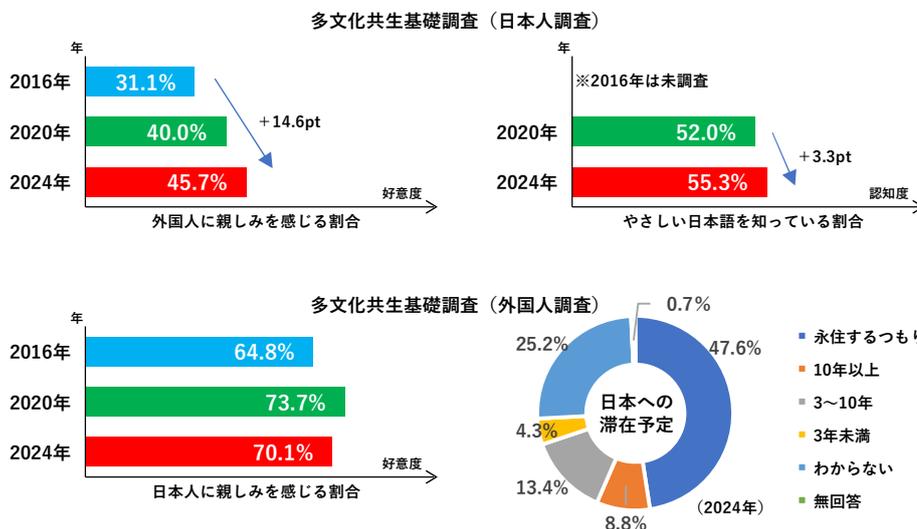
第4期の計画をつくるため、第3期の 取組が どうだったかを ウェルビーイングの かんがえかたも とりいれて 評価しました。

※ウェルビーイング：からだも ころも しゃかいてきにも よいと おもえること。ウェルビーイングを たかめていくことがたいせつです。

<アンケート調査の結果>

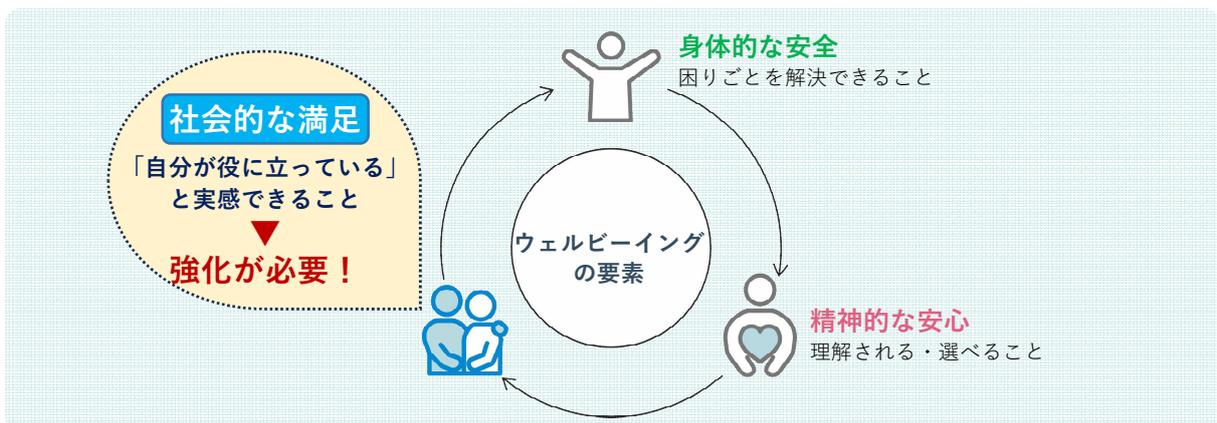
日本人の 外国人へのきもちは 2016年から2024年で 14.6ポイント よくなっています。

しかし、外国人の 日本人への きもちと くらべると 日本人の 外国人にたいする よいきもちは ひくいです。また、日本に ずっとすみたい 外国人が たくさん います。



<ウェルビーイングの かんがえかた>

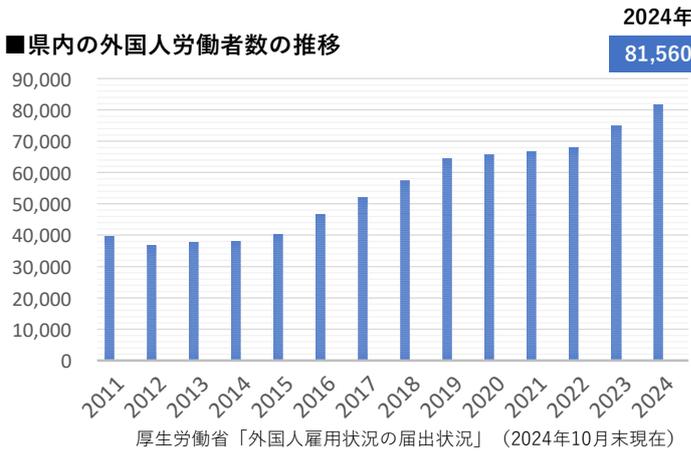
これまでの 取組では、「からだ」と「ころも」が よい状態 になることを めざしてきました。第4期では、これに 加えて 「社会の やくにたっている」とおもえるような 環境づくりを していきます。



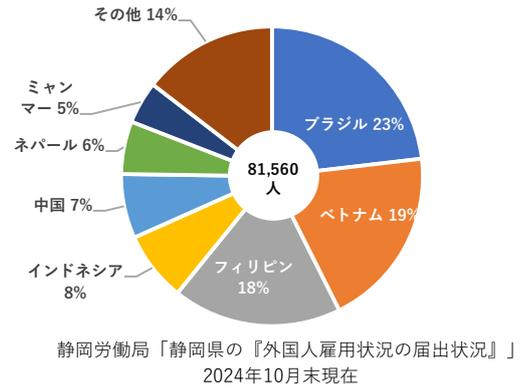
しずおかけん ほうこう ■静岡県のめざす方向

しずおかけん けいざい ちいき
静岡県の経済と地域のちからを、こどもたちへ つないでいくためには、
がいこくじん けんない にん
外国人のちからが ひとつです。県内には、すでに 12万人を こえる
がいこくじん にんいじょう
外国人のひとたちが 暮らし、そのうち 8万人以上が はたらいています。
がいこくじん しずおかけん
外国人は 静岡県にとって なくてはならない ひとたちです。

■県内の外国人労働者数の推移



■国籍別外国人労働者数内訳



がいこくじん ふえたため ふあん ふこうへい ひと
外国人が ぶえたため 不安や 不公平だと 感じる人が ぶえています。
SNSなどで がいこくじん かん じょうほう
SNSなどで 外国人に関する まちがった 情報も ひろまっています。
がいこくじん にほんじん まも
外国人と 日本人が いっしょにくらすためには、ルールを きちんと 守ることが
とてもだいじです。ルールや きまりを まもらない場合は きちんと 対応します。
しずおかけん がいこくじん さべつ はいじょ はんたい
静岡県は外国人を 差別したり 排除することには つよく 反対し、ルールをま
もりながら ともにくらす 社会をつくることを めざします。
がいこくじん にほん せいど りかい
また 外国人が 日本の 制度や マナー、ルールを 理解できるように そうだんや
じょうほうていきょう
情報提供を すすすめます。

しずおかけん がいこくじん にほんじん
静岡県は 外国人と 日本人が いっしょに あたらしいものを つくりだす
「インターカルチュラル」の かんがえかたを だいじにして、たぶんかきょうせい とりくみ
「インターカルチュラル」の かんがえかたを だいじにして、多文化 共生の取組を
すすめます。

がいこくじんけんみん
外国人県民は、

「いっしょに まちをつくる パートナー」

です。

ちがいを ちからに かわ えて、だれもが あんしん して くらせる しゃかい
ちがいを ちからに 変えて、だれもが 安心して くらせる 社会を めざして い
きます。

■めざす すがた

にほんいち たぶんかきょうせいけん 日本一の 多文化共生県

けいかく
計画では、あたらしく「インターカルチュラル」という かんがえかたを だいじにします。



「インターカルチュラル」をイメージした
静岡県多文化共生シンボルマーク

インターカルチュラル

がいくこくじん
「外国人は、いっしょに まちを つくる パートナ
ー」として、外国人の ちからを 県全体の ちから
や 成長に つなげるという あたらしい かんがえか
たのこと。

■やること

はしら たぶんかきょうせいけんじつげん お きうんじょうせい 柱 1：多文化共生県実現に向けた機運醸成

- ◎インターカルチュラルの かんがえかたを ひろめます
- ◎外国人と 日本人の 理解と 交流を すすすめます

I

はしら がいくこくじんけんみん かつやくしえん 柱 2：外国人県民の活躍支援

- ◎未来のための 日本語教育を すすすめます
- ◎まちや 職場での 外国人の かつやくを 支援します
- ◎外国ルーツの こどもの かつやくを 支援します

II

はしら あんしん かいてき く じゅうじつ 柱 3：安心して快適な暮らしの充実

- ◎ライフステージに 応じた 相談や 情報提供を すすすめます
- ◎防災や 防犯対策を すすすめます
- ◎正確で わかりやすい 情報を 発信します

III

■やること

だいこうもく 大項目	ちゅうこうもく 中項目	しょうこうもく 小項目
はしら たぶんかきょうせい 柱 1：多文化 共生 けん じつげん む きうん 県の実現に向けた機運 じょうせい 醸成	○インターカルチャーの 理念の普及	たぶんかきょうせいげっかん つう とりくみ ・多文化 共生 月間を通じた取組の そくしん 促進 ・ICCかめい たぶんかきょうせいせさく ・ICC加盟による多文化 共生 施策の こうじょう 向上
	○外国人県民と日本人県民 の 相互理解と交流の促進	・やさしいにほんご ふきゅう 日本語の普及 ・たぶんかきょうせいこうざとう じっし 多文化 共生 講座等の実施 ・ちいきにほんごきょうしつ つう たぶんか 地域日本語 教室を通じた多文化 きょうせい ば 共生の場づくり
はしら がいこくじんけんみん 柱 2：外国人県民 かつやくしえん の活躍支援	○未来を拓く日本語教育の 推進	・ちいきにほんごきょういく すいしん 地域日本語 教育の推進 ・がいこく にほんごしどう 外国ルーツのこどもの日本語指導 ・ひようしゃ りゅうがくせい にほんごきょういく 被用者や留学生の日本語 教育 しえん 支援
	○地域や職場での外国人の 活躍支援	・ちいき かつやく がいこくじん とりくみ てんかい 地域で活躍する外国人の取組の展開 ・しょくば かつやくしえん 職場での活躍支援 ・ろうどうしゃけんしょう ふきゅう 労働者 憲章の普及
	○外国ルーツのこどもの 活躍支援	・ふしゅうがく う とりくみ そくしん 不 就学を生まない取組の促進 ・がいこく しえん 外国ルーツのこどものキャリア支援
はしら あんしん かいてき 柱 3：安心で快適な く じゅうじつ 暮らしの充実	○ライフステージに応じた 相談・情報提供の 推進	・にゅうようじ こうれいしゃ べつしえん 乳 幼児～高齢者のステージ別支援 ・たげんごそうだんたいせい じゅうじつ 多言語相談体制の充実 ・やさしいにほんご たげんご やさしい日本語や多言語による じょうほうていきょう 情報提供
	○防災、防犯対策の 推進	・ぼうはん こうつうあんぜんじょうほう はっしん 防犯・交通安全 情報の発信 ・さいがいがいじががいこくじんしえんたいせい せいび 災害時外国人支援体制の整備
	○正確でわかりやすい 情報の発信	・がいこくじん かん せいかく じょうほう 外国人に関する正確な 情報の ていきょう 提供 ・にほん せいど せいかつ しゅうち 日本の制度や生活ルールの周知

小さい子ども

(~5さい)

こども

(6~14さい)

せいねん

(15さい~29さい)

ちゅうねん

(30さい~65さい)

ろうねん

(65さい~)

【がいこくじん そうだんセンター「かめりあ」※による そうだん/じょうほうていきょう】

【にほんにきたとき】

◎せいかつに ひつような じょうほう ◎そうだんするところ、にほんごきょうしつ の あんない

【ひっこし、くにへ かえる】

◎ひっこしのこと、すいどう、ガスをやめる、ねんきんを やめる ◎こどもの てんこう、くにへ かえる てつづき

【こどもをうむ、そだてる】

◎おやと こどもの けんこう
◎こそだての じょうほう
◎こそだての そうだん

【がっこうへ いく】

◎にほんの がっこう
◎おかねのこと、きゅうしょく
◎べんきょう、にほんご
◎とちゅうから がっこうへ いく
◎よるの がっこう

【しながく、しゅうしょく】

◎しんろの そうだん
◎はたらく ばしょを きめる
◎めんきょや しかくを とる

【はたらく】

◎ほうりつ (きまり)
◎てあて ほけん
◎ぎじゅつや にほんごを まなぶ
◎しごとを かえる

【としを とったあと】

◎ねんきん ◎ちいきとつながる
◎しんでしまったとき そうしき

【かいご、ふくし】

◎かいご、ふくしの じょうほう ◎そうだんするところ

【ほうりつ、こうつうあんぜん】

◎けっこん、りこん ◎DV,ぎゃくたい ◎はんざいなどを ふせぐ ◎ふほうたいざい、しゅうろうをふせぐ

【すむところ、せいかつ】

◎いえを かりる ◎ごみを だす、まちのルール ◎ぼうはん、こうつあんぜん ◎まちの かつどう

【さいがい、きんきゅうのとき】

◎にげるばしょ ◎にげるための じょうほう ◎がいこくごや「やさしいにほんご」の じょうほう

【びょうきのとき、けんこう】

◎つうやくのいる びょういん ◎びょういんの きまり ◎こころの けんこう ◎うつる びょうき、ちゅうしゃのこと

【こうりゅう、かつやく】

◎こくさいこうりゅう ◎にほんごきょうしつ ◎ちいきの イベント ◎ちいきと こうりゅうする、かつやくする

だいな とりくみ

ICC加盟による多文化共生施策の向上

国際的な 町のネットワーク（ICC）にはいます。がいくの よい やりかたを
とりいれて 多文化共生のとりくみを もっと すすめます。

地域日本語教育の推進

にほんごきょうしつ の とりくみを すすめて、希望する すべての 外国人が 生活する
ための にほんごを まなべるようにします。ともに わかりあい こうりゅうすることを
すすめます。

不就学を生まない取組の促進

希望する 外国人の こどもが ぜんいん がっこうに 行くことができるよう とりくみ
ます。

多言語相談体制の充実

静岡県多文化共生総合相談センター「かめりあ」で がいくごの そうだんを
します。

もくひょう

	施策の柱	指標名	基準値 (R6実績)	目標値 (R10)
成果指標（アウトカム指標）	—	やさしい日本語が使える と答えた日本人の割合	31.4%	40%
〃	—	就学の働きかけの対象 となる外国人のこどもの 数	70人	35人
活動指標（アウトプット指標）	柱1：多文化 共生県の実現に 向けた機運醸成	やさしい日本語・多文化 共生講座に参加した 県民の数	50人	250人 (R6-10)
〃	柱2：外国人 県民の活躍支援	地域日本語教育空白 市町数	10市町	6市町
〃	柱3：安心で 快適な暮らしの 充実	やさしい日本語による 防災情報の提供	15件	115件 (R6-10)

とりくみをすすめるしくみ

■ 県のしくみ



いろいろな そしきや、ひとが
きょうりよくして、とりくむための
プラットフォームを、つくります。
みんなが、あんしんして、くらせるよう、とりくみます。



静岡県多文化共生推進基本計画

2026年3月

静岡県企画部多文化共生課